

**No.155**

メロン、丸い形は地球に見える？メロンのようにおいしく、その表面の網目のように
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします！

□	巻頭 まふがっこ 2020 スタート！	…… 1	寄稿 コロナ危機下での Black Lives Matter	…… 4	□
紹介	新理事長・前田一成さんインタビュー	…… 2	カレンダー 2020年8月の comm cafe ランチカレンダー	…… 5	
紹介	シェフ紹介 セバルさん	…… 3	巻末 協会・他団体からのお知らせ／編集後記	…… 6	□

まふがっこ 2020 スタート！

《モンゴル遊牧民の子どもの遊び》

3年目を迎えた、地域の小学生を対象に多文化体験・交流・学びクラブ「まふがっこ」が、今年も始動。7月4日(土)、新型コロナウイルス感染防止のためZoomを使った初の試みに2人の小学生が参加した。



ボルドさん

今回は、講師のオチルホヤグ・ボルドバートル(ボルド)さんが《モンゴル遊牧民の子どもの遊び》を紹介。昨年度は皆でわいわい集まって行った「まふがっこ」だが、今回は別々の場所からパソコン画面越しの参加に、慣れない子どもたちは少し心配そう。でも、ボルドさんが「好きなことは乗馬！子どもの時は毎日馬に乗っていたよ」「モンゴルの遊牧民の暮らしでは、馬・牛・羊・山羊・ラクダを『5畜』と呼び、家畜は身近でとても大切なもの」「家は『ゲル』といって、木の柱と羊毛フェルトと布で組み立て、また簡単にばらして移動できるんだよ」と話すにつれ、徐々に距離感が消えていった。

次にボルドさんが取り出したのは、3センチ角位の大きさの不思議な形をしたかけら、名称「シャガイ」。その「シャガイ」で、日本のお手玉やおはじきに似た遊び方を教えてもらいながらゲームに夢中になる頃には、対面と変わらない臨場感が漂っていた。自身の手のひらにある「シャガイ」が本物の羊の

くるぶしの骨だと伝えられると、歓声があがった。「大切な家畜のすべてを活かす」というモンゴル遊牧民の文化の中で最も重要としている考えを遊びの中から学び、モンゴルの草原で暮らす子どもたちに思いを馳せることができたようだ。

事前に子ども達へ配布していた資料を用いての1時間。講義の

終了の合図とともに名残惜しい声が広がったことから、子どもたちが楽しみながら理解を深めることができたことがわかる。翌々週には、同じ内容の講座を別の子どもたちを対象に開催した。その子らもきっと同じように感じたはずだ。

今年の多文化体験・交流・学びクラブ「まふがっこ」も、コロナ禍に負けずたくましく活動していくので、多くの子どもたちに参加してほしい。(詳細はP6) (平沢)



配布資料 (左がシャガイ)



身を乗り出し、ボルドさんの話を聞く子どもたち

発行・差出人：公益財団法人箕面市国際交流協会(MAFGA)

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西 5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp HP : www.mafga.or.jp

賛助会員数：239名 法人会員数：29団体(2020年7月15日現在)

紹介

互いを知り、尊重する社会をめざす

新理事長・前田一成さんにインタビュー

2020年7月1日、4年間、箕面市国際交流協会（以下、協会）の理事長を務めた西岡璋典さんに代わり、前田一成さんが新理事長に選任された。就任から間もない7月11日にめろん編集部7名でお話を伺った。

めろん編集部（以下、めろん） 簡単な来歴と協会との関りについて教えてください。

前田 箕面市役所に1981年から2016年まで勤めた。在職期間の後半は、協会と関係の深い文化国際課（当時）に配属され、協会との関りは20年近い。昨年度から協会の理事に就任した。自分が茶道を教えていることもあって、多民族フェスティバルで大阪大学外国語学部の学生や第四中学校の生徒たちとともに野点に参加した。

めろん 協会の印象は？

前田 市民がボランティアとして献身的に活動してくださったことで、市の国際化に大きく貢献している。ボランティアと協会が深い絆で結ばれており、協会に関わる人たちの輪も広がっていると感じている。ただ、箕面市の西部での認知度が低い。東の方で外国人のために何かしている団体で、自分とは関係のない場所と思っている市民が多いように思う。

めろん 国際交流といえば、以前は文化交流や姉妹都市交流などが中心となっていたが、時代とともに「多文化共生社会」の実現に主軸が移ってきた。ご自身にとっての「多文化共生」とは何か？

前田 もともと違う「文化」を持っていることを認め、互いの違いを知り合い、尊重しあい、信頼関係を築くことだと思う。

めろん 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、社会構造が変化してきた。労働環境も人との付き合いもリモート中心になりつつあるが、協会にはどのような変化が必要か？

また、特定の国や地域、その出自を持つ人々への偏見や差別が露見している。「差別を許さない社会」を作るため、協会はどのような働きをするべきか？

前田 リモートの導入で時間を上手に使えるようになった。一方で人と人との接点は薄くなる。もともとの人間関係がある人同士ならリモートワークや会議もそれほど難しくはないが、新たに関わっていく人とどのように関係性を築いていくか、ということは課題になってくると思う。

差別をなくすための具体的な方策は見い出せていない。とにかく互いが尊重しあえるようにしたい。重要な命題として取り組んでいくとともに、市民のみなさんからもご提案いただきたい。

めろん 協会は、外国人市民にとって「安心できる場所」。どれだけ支援できたかではなく、外国人市民の不満や不安をどれだけ取り除くことができるかが大事。どうしたら安心して過ごせる社会になるだろうか？

前田 イベントなどの現場に来られる人は、サービスのある程度受けられる人だろう。しかし、もう一步踏み込んで実情を知ることや、ここにアクセスできていない人の状況は、実際に現場に行ってみないとわからない。草

の根的に足を運ぶことで現場を知ることからしか何も始まらないだろう。

めろん 市役所で働く中で、ご自身の中の「外国人」に対する認識で変わったことは？また、市役所全体での変化は？

前田 入局当初は予防接種の部署におり、外国人市民がいることにほとんど気が付かなかった。しかし、健康保険の部署に移ってから、たくさんの外国人市民がいるとわかった。

かつては、市民に案内する書類はすべて日本語しかなかったが、いまは多言語に翻訳されていることも多い。市役所の案内表記も多言語で記されるようになった。外国人も市民だという感覚が根付いてきていると感じる。ボランティアの皆さんがアピールし続けた成果でもあるが、職員の感覚も変わってきていると思う。

市役所の本庁においては、外国人市民からの問い合わせに対応できない部署は、文化国際室にヘルプを頼むことができる。しかし、対応できる職員が異動すれば、文化国際室も対応できない場合も出てくるので、後任の育成も課題。自分が在職中は、通訳や翻訳に関して協会にもっとやってほしいと思うことがあったが、協会としても人的資源や資金力の限界があり、やりたくてもやれないことがあることが今はわかる。

めろん これまでの理事長は、協会のボランティア活動をされていた人だ。初の行政出身者の理事長と、現事務局長も行政出身ということで、ボランティアが声を挙げづらくなったり、協会事業の自由度が制限されたりしないか心配しているが？

前田 自分は退職から4年も経っていることをまず理解していただきたい。協会は、ボランティアの人たちあってこそ成り立っているので、行政側から何か言われたとしても、今までどおり皆さんがやり易いような形を創っていくのが我々の仕事。ボランティアと職員が大切な財産。みんなが安心して自由に発言できる環境づくりをしていきたい。



新理事長：前田一成さん

めろん 最後に、重点を置きたい事業と、新理事長としての抱負を。

前田 各事業については、まだ断片的にしか知らないの、「この事業」というのはまだわからない。対外的なアピールを増やして認知度を増すこと、地域とのつながりという切り口で防災などにも取り組みたいと思っている。

協会の設立目的は「人権の尊重」と「世界平和の実現」。これに則ることを前提にいつでも誰でも来てください、という場所にしていきたい。

【取材を終えて】

「めろん」2009年3月号では、「どうなる? どうする? 国際交

流協会の未来」というタイトルで、箕面市の緊縮財政政策にともない、協会の大幅な予算削減について話し合うイベント報告が掲載されたが、そこで文化国際課長として答弁していたのが前田さん。今回の取材では、古くから活動しているボランティアの不安の声にも真摯に答えていただき、現在は協会の一員として、これまでどおり市民が活動しやすい場を作っていくとの抱負を語ってもらうことができた。

社会が急速に変化している中、理事長としては難しい舵取りを迫られることもあると思うが、常に外国人市民の目線から考えることを忘れないでいただければと思う。1年後にもう一度お話を伺う約束をして、この日のインタビューは終了した。(めろん編集部)



1DAY シェフの紹介

ディリック・セバルさん (トルコ)

この日のランチは野菜中心、素材の味が十分に引き出されたとてもやさしい味だった。セバルさんはトルコの西端、すなわちアジアの西端に位置する北西エーゲ海地方の小さな村サズルの出身。その地方では、オリーブオイルを使った野菜中心の料理が一般的で、野菜と肉を混ぜて調理しないようだ。トルコの料理はケバブなどの肉料理が有名だが、セバルさんは子どもの頃ケバブを食べたことがなかったとのこと。トルコ中央部、東部は中東のいろいろな人々がおり、料理も中東色が濃い、セバルさんの料理はかなり違う。

エーゲ海沿岸は緑のオリーブ畑とエメラルドブルーの海が美しく広がる、リゾート地として世界中の人々を魅了してきた場所として広く知られている。サズル村から海を隔てて間近にギリシャ領レスボス島がある。昔からトルコとギリシャは様々な対立を繰り返してきたが、市井の人々の仲は悪くない、とのこと。

この地域はトルコの中でも昔からの貴重な方言が残っているが、あまり研究されてこなかった。過疎化、高齢化が進んでおり、セバルさんは方言と文化を次の世代に残さねば、という思いから言語学・方言学を専門とした。2008年に来日し、岡山県で言語学の博士号を取得後、2018年に大阪へ。この3月まで大阪大学でトルコ語の講師をしていた。今後は研究を深めつつ、多文化共生にも取り組んでいきたいとのこと。



家族は、バラグアイ出身の夫ゴメスさん、4歳のお子さんの3人。子どもは、母親とはトルコ語、父親とはスペイン語で話すが、1人で考える時は日本語のようだ。3つの言語を混ぜて会話することもあるが、両親のそれぞれの言葉は話すようになってほしいと思っている。今まで、差別や偏見を感じたことがなかったのは、とてもよかった。6月から通い始めた幼稚園のより自由な環境が、本人はとても気に入っているようだ。ただ、今後小学校に進むとどうなるか、特にいじめを受けないか心配している。自身が幼児教育に携わったこともあり教育には強い関心を持っている。日本の教育は小学校入学まではとても自立していると思うが、小学校では卒にはめら

れ、それは大学に入るまで続いているように見える、と話した。

陽気で話題が豊富、日本語も流暢なセバルさんのお話を聞く【連続講座 (全5回) エーゲ海からの生の声】が8月9日から始まる。是非、ご参加を。イベントについての詳細はP6の告知ページ。(鷺尾)



特派員
レポート

米国コロナレポート 後編 コロナ危機下での Black Lives Matter ブラック・ライヴズ・マター*

特派員
紹介

とうは
陶 波さん
中国出身。箕面市豊川南小卒。
12年前ブラウン大学在学中に、
協会でインターンを経験。



私が今回日本に帰国する直前、留学先のニューヘイブン市の中心部で大きな集会が開かれた。千人近い参加者はみな黒いTシャツなどに身を包み、一団となってスローガンを唱えながら街頭デモを行った。コネチカット州では3月からコロナ対策のため外出禁止令が出ており、このような集会は感染防止の観点からは避けるべきなのだが、多くの人は構わず行進した。

危険を冒してまで彼らが参加したのは、言うまでもなく Black Lives Matter (以下、BLM) ブラック・ライヴズ・マター運動*であった。5月末にミネアポリスの警官が無抵抗の黒人男性George Floyd(ジョージ・フロイド)氏を殺害した事件を受け全米はもとより、日本も含む全世界に拡散したこの一連の運動は、ニューヨークなどの主要都市だけでなく、ニューヘイブンのような地方都市や更に小さい町にまで波及した。私は計15年程の滞米歴があるが、今回の抗議運動はこれまでに経験した事のない規模だった。

コロナは貧困や経済格差などの現代社会の問題をあぶり出すが、BLMが対象とする人種問題のルーツはより深く、アメリカ建国前まで遡る。1776年に「自由」「平等」を掲げ、イギリス植民地支配からの独立を宣言し、市民による共和制を志向して建設されたアメリカ合衆国は、しばしば「壮大な民主主義の実験」(Great Democratic Experiment)として称賛されてきた。一方、このような建国神話で語られないのは、これらの理念がそれとは正反対の「奴隷制」と表裏一体の関係で併存してきた事である。

日本では大きなニュースにならなかったかもしれないが、昨年は実はアメリカにとって大きな節目の年であった。なぜなら2019年はアフリカから強制的に連れて来られた20余人の黒人がバージニア植民地のジェームズタウンで奴隷として売買されてから、ちょうど400年目にあたる。1619年に初の奴隷売買が行われた一方、そのわずか数週間後、新大陸

における最初の代表制議会として知られるバージニア議会(Virginia House of Assembly)が開かれた。つまり、アメリカ合衆国が建国される150年以上も前から、アメリカ(当時は英国領)では「奴隷制」と「民主主義」がほぼ同時に誕生していたのである。

南北戦争中**に発表されたリンカーン大統領の宣言により奴隷制はひとまず廃止され、後に解放された元奴隷の参政権も認められた。しかし、長い歴史や伝統に根差した黒人に対する差別はその後も消える事なく、警察や刑事司法組織によって制度化され、今日まで続いている。この歴史的な矛盾——宗教的な言い方をすれば、「原罪」(original sin)——を克服し、本当の意味での「自由」や「平等」を勝ち取ることこそが今後のアメリカに課せられた題目だとすれば、その「実験」はまだ進行中で、未完成なのだ。

だが希望を持つ理由もある。現在のアメリカはコロナの感染者増加に歯止めがかからず政治も混乱しているが、それでも市民が主体となり、社会のあるべき姿について公の場で議論を交わす言論空間が確保されている。コロナ危機をバネにして一人一人が声を上げ、「壮大な実験」が一步前進することを願う。

*2012年2月、フロリダ州サンフォードで黒人の高校生Trayvon Martin(トレイボン・マーティン)氏(当時17歳)が自警団員に射殺された事件を機に起こった、黒人への人種差別を抗議する運動。この運動はその後、#BlackLivesMatterのハッシュタグでSNSを通して広がり、全米に支部ネットワークが組織された。スローガンには極めて重い歴史的意味合いが何層にも含まれているため日本語で表現するのは難しいが、あえて意識するなら「黒人に人間としての尊厳を」といったところか。編集部(注)も参照。

**1861-65年に起こった米国の内戦。黒人奴隷の労働力に依存したプランテーション経済を確立していた南部と、奴隷制度の拡大に反対した北部の間で争われた。

編集部(注) 日本でも6月初旬から大阪を皮切りに、東京・名古屋・京都などで、デモが行われた。#Blacklivesmatterkansai



胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科

おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
pm1:00~3:00(胃カメラ)	□	□	□	□	□	□
pm5:00~7:30	○	○	○	○	○	○

※診療開始 30 分前から受付します。

■胃カメラは予約制です。

■休診日：土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日

■http://homepage2.nifty.com/ozawa-clinic/

【住所】〒562-0023

箕面市粟生岡谷西 3-7-9 シャトー野間 1F

阪急バス停留所「宮の前」 スーパーマルヤス向い

■無料駐車場 有

TEL: 072-730-0721



エスパーロ

能勢

espero nase

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間：金～月 11:00 ~ 17:00

http://espero-osaka.com/

箕面市国際交流協会の

多言語による生活相談窓口

電話 072-727-6912

(日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時：火曜日から日曜日 9:00~17:00

受付方法：来館、メール、電話

対応言語：日本語、韓国・朝鮮語、

中国語、英語、ポルトガル語

場所：箕面市立多文化交流センター

8 月
August

comm cafe ランチカレンダー

コム カフェ

火～土

★朝カフェ … 9:30 ～ 11:30

★ランチタイム … 11:30 ～ 14:00

* 売り切れ次第終了します *

★午後カフェ … 14:00 ～ 17:00

日・祝日

★世界の朝ごはん (ドリンク付 660 円)

… 10:00 ～ 13:00 * ランチはありません

★プランチセット (ドリンク付 510 円)

… 9:30 ～ 15:00 * ランチはありません

ランチは 880 円 (税込) です。

* ランチタイムのみプラス 100 円でコーヒー・紅茶・ジュース・季節のドリンクがつけます。

●ご予約 (comm cafe 直通) 072-734-6255

☒ … スナック or スウィーツの日 ☑ … カフェで開催するイベント

各種イベントの詳細は「めろん」P6・7をご覧ください。

comm cafe からのお知らせ

★厨房メンテナンスのため、8/18 (火) ～ 21 (金) 閉店します。

◆新メニューのスムージー (400 円) 好評発売中! ○ミーングリーン (小松菜、マンゴー、バナナ、パイナップル他)、
○フレッシュビーツ (生ビーツ、バナナ、マンゴー他) ○ジャンプスタート (イチゴ、ブルーベリー他) 3 種類からどうぞ～!

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どうようび	にちようび
◆「箕面お買い物割引券」使えます! (1,000 円以上のお支払のみ) ◆今月から、ランチのテイクアウト (お弁当) は 880 円 (税込み) で、 ご用意します。					1 協会主催事業のため、 ランチはお休みです。 ★カフェをご利用できる 時間 14:00 ～ 17:00	2 スランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《ベラルーシ》 10:00 ～ 13:00
3 休館日	4 コフさん 《タイ》	5 トゥエットさん 《ベトナム》	6 レイラさん 《モロッコ》	7 ラニアさん 《エジプト》	8 アブドゥさん 《セネガル》	9 スランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《ベトナム》 10:00 ～ 13:00
10 [祝日] スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	11 協会主催事業のため、 ランチはお休みです。 ★カフェをご利用できる 時間 14:00 ～ 17:00	12 スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	13 スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	14 スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	15 スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	16 スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック
17 休館日	18 ★厨房メンテナンスのため、カフェは閉店します★	19	20	21	22 ティさん 《ベトナム》	23 スランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00 ～ 13:00
24/31 休館日	25 ノックさん 《タイ》	26 スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	27 クラウディアさん 《メキシコ》	28 洪さん 《コリア》	29 ホーさん 《香港》	30 スランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00 ～ 13:00

- ベジタリアン、ハラール、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。https://www.facebook.com/mafgachallengecafe



国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

下記についての問い合わせ・申し込みは(公財)箕面市国際交流協会まで

※開催場所：箕面市立多文化交流センター

電話：072-727-6912 FAX：072-727-6920 E-mail：info@mafga.or.jp

ワークショップイベント

8/8 (土)
15:30 ~ 16:30

ペルシャ・ダンス・ワークショップ 悠久の世界への誘い (いざな) い

イラン出身のメヌシュさんから、ペルシャダンスを習います。
ダンスを学びながら、ペルシャについて色々な話を聞きましょう。
◎講師：サレヒ・メヌシュさん (イラン・イスファハーン出身)

対 象：どなたでも。特に、ダンスに興味のある方、イランやペルシャ文化に興味のある方

定 員：10 名 (申込先着順)

場 所：講座室

参加費：1,650 円

シリーズ講座

①8/9 (日)
②8/23 (日)
③9/6 (日)
④9/20 (日)
以上 4 日間
14:00 ~ 15:30
⑤10/11 (日)
11:00 ~ 12:30

エーゲ海からの生の声

トルコ・エーゲ海地方の言語 (方言)、歴史、食文化について知るための 5 回シリーズ講座。最終日の 10 月 11 日 (日) は、エーゲ海地方のフルコースが楽しめる。(3P の記事も、参照ください)

◎講師：ディリック・セバルさん (トルコ出身・言語学者)

- ①エーゲ海地方の紹介
- ②エーゲ海地方の文化を日本文化と比較しながら紹介
- ③トルコの方言を日本の方言と比較しながら紹介
- ④紅茶文化とコーヒー文化の紹介
- ⑤エーゲ海料理のフルコースを楽しむ会

対 象：どなたでも。

特に、トルコに興味のある方、言語・言葉・方言に興味のある方

定 員：20 名 (申込先着順)

場 所：comm cafe 

参加費：初回に全納

一般：6,400 円

賛助会員：5,500 円

1 回のみの参加の場合：

①～④770 円 / 回

⑤3,500 円

イベント

8/22 (土)
18:00 ~ 20:00

タイナイト 2020 ～ヴァーチャルタイツアーを楽しもう！～

夏といえば、タイナイト！タイナイトといえば、夏！
本格タイ料理を食べながら、タイの文化やオススメスポットについて知ろう。
◎講師：サタポン・パクチラ (コブ) さん (タイ出身)

定 員：20 名程度 (要申込)

場 所：comm cafe 

参加費：大人 2,000 円

子ども 1,000 円

交流会

9/4 (金)
13:30 ~ 15:00

ホストファミリー交流会

コロナ禍で、受け入れている留学生の方とどのように交流されてきましたか？ホストファミリーを対象とした、交流会・意見交換会を開催します。*今年は春・秋ともに、新規のホストファミリーの募集はありません。

定 員：10 名程度 (要申込)

場 所：会議室

参加費：無料

共 催：ホームビジットグループきずな

イベント

①9/5 (土)
11:00 ~ 12:00
②9/19 (土)
11:00 ~ 12:00

Zoom で！多文化体験・交流・学びクラブ「まふがっこ」 「ベトナムの食文化について」

地域で暮らす外国人市民との交流で多様性を体験するプログラム
*インターネット接続環境が必要。①②の実施内容は同じ。

◎講師：ド・フオン・タオさん (ベトナム出身)

対 象：小学生

定 員：各 5 名 (申込先着順)

場 所：オンラインでの開催となるため、自宅のパソコンやタブレットなどから参加。

参加費：無料

申込み：8/11 (火) から

申込方法：電話、FAX にて

唐木幸子バレエスタジオ ～箕面の地で 38 年の歴史～

*バレエコース：教師歴 55 年の唐木幸子と、「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校教師養成学科」卒業、バレエ教授法取得証明書 (Diploma) 取得、教師歴 25 年の唐木智子が丁寧に指導致します。「バレエは芸術」として楽しんで長く続けられるように、また中高生にはクラブ活動や受験で断念する事のないよう配慮しています。幅広い年齢層 (3 才～70 才位) で目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

*健康コース：現在、大学教育にもなっている「姿勢科学」理論に基づいた姿勢調整をいたします。(姿勢科学療法)

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前 (駅より 30M)
072-721-6300 / 721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>

(公社) 日本バレエ協会会員・AODT 会員





外国人市民を取り巻く状況やボランティア活動でのコミュニケーションについて学び、多様性あふれる地域をいっしょに作っていきましょう！

- 9/5 (土) 13:30 ~ 14:00 国際交流協会の紹介※対象：ボランティア活動への新規希望者
14:10 ~ 16:00 【講演】「コロナ禍での外国人市民～大阪ミナミでの支援活動から」
講師：金光敏さん(特定非営利活動法人コリア NGO センター事務局長)
- 9/19 (土) 14:00 ~ 16:00 【講演】「ボランティアの扉をあけて 自分再発見！」
講師：須貝昭子さん
(特定非営利活動法人市民活動フォーラムみのお理事長)
- 16:00 ~ 17:00 ボランティア活動の紹介 ※自由参加

14:00 ~ 16:00

10/10 (土)

【講演・ワークショップ】

「やってみよう！対話型学習の実践～

大阪府教育庁「きいて まねして はなして」を使つての日本語学習支援の試み～」

講師：安田乙世さん(NPO法人おおさかこども多文化センター理事)

14:00 ~ 16:00

10/17 (土)

【講演】「地域日本語教室とボランティアの役割」

講師：澤田幸子さん(一般財団法人海外産業人材育成協会日本語講師)

場 所：箕面市立多文化交流センター講座室

参 加 費：会員…無料、一般…各回550円 定員：各40名(申込先着順)

一時保育：1歳6か月以上就学前まで 100円/1人、定員各回3名、申込先着順。各開催日の7日前に受付締切

他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。

資料展

～8/26(水)
10:00～17:00

箕面市立郷土資料館 コーナー展示

戦時生活資料展

戦時中に使われていた生活道具や当時の様子が分かる
写真・パネルなどを展示します。

場 所：箕面市立郷土資料館(箕面市箕面 6-3-1
みのおサンプラザ1号館地下1階)
開館時間：午前10時～午後5時
木曜休館
入 館 料：無料 ☎072-723-2235

展示企画

～8/30(日)
10:00～17:00

箕面市小野原図書館 展示企画

【青】「青」色の表紙をテーマに集めた展示企画。
写真集、旅行記、小説、歴史本、経済本など、様々。
思いがけない出会いがあるかも！

場 所：箕面市立多文化交流センター内
(箕面市小野原西 5-2-36)
開館時間：午前10時～午後5時
月曜休館
入 館 料：無料 ☎072-749-5176

ワークショップ

①8/20(木)
14:00～16:00
②8/27(木)
14:00～16:00

メディア リテラシー連続講座

【コロナ禍のメディアとわたしたち】

- ①【入門編】
メディアとは？そして、メディア・リテラシーとは何か？
基本のキから、参加型ワークショップで学ぶ。
- ②【やってみよう！編】
入門編を踏まえて、コロナ禍をめぐるニュースの分析を行う。
*①②どちらか、1回の参加も可
進行：とよなかメディアプロジェクトチーム

場 所：人権平和センター豊中
(豊中市岡町北 3-13-7)
参 加 費：無料
定 員：30名(申込先着順)
主催・申込・問合せ：
(一財)とよなか人権文化まちづくり協会
☎ 06-6841-5300
✉ bwz37306@nifty.com

coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか？



ボディに布を直接
のせて服をつくっ
てみましょう！
(立裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和42～45年 フランス・パリの洋裁学校にて立裁断、
デザイン等を修得

昭和45～47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー

昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします！ ◆パターンや立裁断も教えます。 ◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください！

●問合せ：〒562-0012 箕面市白島2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151
E-mail info@coupe-de-minami.com URL http://www.coupe-de-minami.com

めろん編集ボランティアスタッフ 絶賛募集中！

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを常時募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方も、そうでない方も、ぜひご参加ください!!

會議日程

読合せ 第2火曜日15時～（次回は8月11日）

編集会議 第4土曜日10時～（次回は8月22日）

作業日程

印刷 毎月最終火曜 13 時～（次回は 8 月 25 日）

放送 毎月最終水曜 13 時 30 分～（次回は 8 月 26 日）

場 所	箕面市立多文化交流センター2 階
-----	------------------

編集後記

1 年ほど前から友人と始めた読書会「Feminism in Our Mind」は、今年 8 月で 8 回を数える。「フェミニズム」をテーマに選んだ課題本を読んで集まり、作品を通して感じたこと、考えたことを共有する小さな会だ。同じ作品を読んでも、心に残る言葉や感じ方は個々人によって違う。自分の中の刷り込みや、思い込みを省みる場となっている。

次回 8 月の選書『完全版 韓国・フェミニズム・日本』（河出書房新社）は、その名の通り「フェミニズム」が韓国と日本の架け橋となっている作品集。韓国の視点と、日本からの視点を交えながら、韓国の「今」を感じることのできる多様な作品が収められている。『82 年生まれ、キム・ジヨン』のチョ・ナムジョやイ・ランなどの若手作家の短編小説、日本からは小川たまか、倉本さおりのエッセーに加えて、韓国文学をより理解するための選書リストや、「韓国文学一夜漬けキーワード集」まで収録された充実の内容だ。

現代韓国文学を日本に紹介してきた立役者の一人でもある本書の責任編集者・斎藤真理子が、「大きな歴史の物語と、小さな個人の物語が交錯するときに起きる風をさまざまに敏感に描きとっている」と言い表すその深さが、どの作品にも溢れていて、読み終えてしまうことが惜しいような感覚になる。

小野原図書館を含む市内の図書館では、前述の2作品を始め、いくつもの韓国文学作品を蔵書している。興味を持たれた方は、是非、足を運んで欲しい。コロナ禍で、以前のように気軽に旅行できない今、文学を通して隣の国に思いを馳せ、心の距離を近づけたい。(末原)

*図書館の蔵書で、私のおススメ作品は『海女たち 愛を抱かずしてどうして海に入られようか』（新泉社、ホ・ヨンソン著）、『こびとが打ち上げた小さなボール』（河出書房新社、チョ・セヒ著）、『保健室のアン・ウニョン先生』（亜紀書房、チョン・セラン著）。

蔵書以外では、『ウジョとソナ 独立運動家夫婦の子育て日記』（里山社、パク・ゴヌン著）、『夢を描く女性たち イラスト偉人伝』（タパブックス、ボムアラム著）。

▶ アクセスマップ ▶▶▶

 オレンジゆずるバス

- (平日・土曜)黄ルート「多文化交流センター前」
または赤ルート「小野原南」から西へ約 550m
●(日曜・祝日)緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約 200m
※「多文化交流センター前」には停車しません。

阪急バス

出 発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30、51、55、56 58、59、66、79	① 小野原
		② 小野原西
	175、176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西 5 丁目
	70、78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
阪急石橋から	92	① 小野原
JR 茨木方面から		② 小野原西

「めろん」 編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、大橋亜由美、荻野克彦、島田希、崔聖子、平沢清美、結城なお、鷺尾則昭

【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、末原真紀、炭野洋子、鳥羽山良平

問合せ：(公財)箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西 5-2-36 多文化交流センター

Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafqa.or.jp

HP : www.mafga.or.jp FB : facebook.com/Mafga みのお多言語ポータル : <http://portal.mafga.or.jp/>